



地域おこし協力隊通信

—第17回—

皆さん、こんにちは！ 地域おこし協力隊の野口です。

能代市に地域おこし協力隊として移住して、早くも一年半が過ぎました。今日に至るまであっという間で、あまり知られていませんが、協力隊の任期は三年間と決まっています。ということで、私の活動期間は残り半分となってしまいました。しかし、「地域の為にしたいこと」「自分の為にしたいこと」まだまだ山のようにあります！ 例えば街の皆さんとのコラボ。活動一年目はどうしても自分の人脈が乏しかったために主体的な活動しかできませんでした。現在ではありがたい事に多くの街の方々とお知り合いになり、サポートを頂戴しております。せっかくの出会いを大切に、コラボという形で能代市のために何かできたら良いですね！

引き続き、能代市地域おこし協力隊の応援よろしくお願いします！



一緒に能代市の地域活性化を楽しみましょう！

能代市地域おこし協力隊フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/noshirokoryokutai>

問合せ 市民活力推進課 ☎89・2212



このコーナーでは、市内で操業する誘致企業を紹介します。



No.58

誘致企業編

培ってきた技術で、良いものを安く早く製品に

レインボーワールド

株式会社

今回は、扇田で1989年に操業したレインボーワールド株式会社を訪問し、代表取締役の芝崎敬四郎さんにお話を伺いました。

レインボーワールドはどんな会社ですか。

世界有名ブランドを中心とした高級ハンカチーフやスカーフ、ストールなどを扱っています。オーダーを受け、製版からプリント加工、製品化納品までを一貫して行えるのが特徴です。

ものづくりの会社として、やはり品質管理が重要と考えています。これまで培ってきた技術で、高品質な製品を安価でスピーディーに作る事が基本です。

能代市での操業を決めた理由を教えてください。

どこかに生産基地が必要だと考えていました。染色には、



オートプリント（機械作業）の様子。素材やデザインによりハンドプリント（手作業）と使い分ける。

糊や余分な染料を洗い落とす工程がありますが、それに欠かせない「きれいな水」が能代には豊富にあります。敷地



【会社概要】
 代表取締役 芝崎 敬四郎
 所在地 能代市扇田字扇洲 3-6
 ☎58-2033
 設立 1989年1月
 事業内容 プリント加工の技術を生かしたハンカチなどの一貫生産

—社員からひとこと—



生産部 調色

菊池 唯さん(高埜)

高校を卒業してすぐに就職し、11年目になります。地元就職したいと漠然と思っていたときに求人を知り、色を扱うという特殊な仕事に興味を持ちました。

ハンドプリントやオートプリントの工程も経験し、現在は版に基づき染料を調合する業務を行っています。複雑で無限な色の世界にやりがいを感じています。

技術の要る仕事なので、職人気質の人も多いですが、勤務時間以外はみんな気さくで、明るい雰囲気の職場ですね。

企業理念や社員に求めることはどんなことですか。
 「生き生きと伸び伸びとピリピリ」した社内環境づくりに努めています。自主性・責任感・使命感を持った社員ということです。それが、ひいては社員の生活向上や社会貢献にもつながると考えています。

が広く、ゆったりと作業できるのも利点です。また、厳しい冬を耐え抜く粘り強い人材にも魅力を感じました。